

やちまた21

会嶋 誠治
押尾 巖
小澤 定明
山本 正美
加藤 弘

代表
質問
会嶋 誠治

◆新年度予算について

問 市民要望等実現に向けた本市の行政環境をどのように考えているのか。

市長 景気低迷等の影響による市税収入の減、制度の見直しによる地方交付税の減や扶助費の増加、また公債費は、現在着手している事業による多額の地方債の発行に伴い、その償還費が今後増加することが見込まれるなど、さらに厳しい財政状況を迎えることが予想されます。

問 財政確保に具体的にと

どのように取り組むのか。
市長 平成16年度予算は、厳しい財政状況を踏まえ、歳入面では市税収入の確保、受益者負担適正化の推進、歳出面では、全般に経費の節減合理化の推進、既

存の制度施策の見直しを推進しました。

問 新年度新規事業等施策推進をどのように考えているのか。

市長 基本構想の定める将来都市像「21世紀のヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、基本計画及び実施計画に位置づけのある事業を中心に、重点的な予算配分に努めました。

問 行政サービスに対する費用対効果をどのように考えているのか。

市長 常に費用対効果の分析やサービス内容水準、執行方法等についての妥当性の検討をしていく必要がある、効果の乏しくなったものや内容が社会的、経済的実情に即さなくなったもの、妥当性を欠くもの、過剰なものなどについては見直しを進める必要があると考えています。

◆農業振興について

問 農業の多面的機能の重要性が全国的にも強く認識されてきているが、本市としてこのことをどのように考え、新年度の施策推進並びに新総合計画等の将来計画にどのように反映してい

くのか。

市長 個々の生産者の自助努力を助長するとともに、環境の変化により生じるさまざまな問題に柔軟に対応できる生産・流通体制整備に取り組める施策を新総合計画等に盛り込みたい。

問 北総中央用水土地改良事業推進への新年度の取り組みは。

市長 同意徴集等を含めた法手続を平成16年度内に行うと聞いています。今後も畑かんがい組合など、既存施設と北総中央用水との活用方法について協議を重ねながら、各集落ごとに説明会を実施し、事業推進を図りたい。



▲北総中央用水土地改良事業により完成した調整水槽(滝台区)

◆大池調整池整備について

問 今年度の進捗状況は。

市長 主な工事は、下流池は堤体の盛土、積ブロック及び洪水吐が主な工種であり、上流池は止水鋼矢板延長約440坪の打設です。

問 地域要望を踏まえた周辺整備の概要とその計画の見直しはどうか。

市長 平成16年度は、下流池東側の市道文違18号線等の排水及び道路整備を計画し、また、上流池周辺整備は、工事の進捗状況を踏まえ計画したい。

個人
質問
小澤 定明

◆八街バイパス等道路整備促進について

問 八街バイパスの今年度の整備進捗状況並びに今年度の整備計画は。

市長 街路事業は平成16年1月末現在、買収面積約3万2千700㎡で91%、道路事業は買収面積約2万3千900㎡で56%です。

新年度は、さらに用地買収を進め、街路事業区間はJR線路横断部の橋梁工事に着手していく予定です。

問 八街バイパス流末排水整備事業への取り組みは。
市長 バイパスの街路事業

として実施している区間の雨水排水は、下流への影響を考慮し、調整池により流末を整備する予定です。

問 都市計画道路金毘羅線整備事業促進に向けての新年度の取り組みは。

市長 新年度は、八街バイパス事業の進捗と整合を図るよう、さらに用地取得を進めるとともに関係機関との協議等、工事施行に向けた準備を順次進めていく予定です。

◆八街駅北側地区土地区画整理事業整備促進について

問 今年度の整備進捗状況並びに今年度の整備計画は。

市長 平成15年度末の進捗率は、事業ベースで約48%の見込みです。今年度の整備計画は、移転補償として、移転戸数8戸、権利者数14件を予定し、主な工事は、北側駅前広場の完成と、引き続き区画道路の整備を行う予定です。

問 この事業の周辺地域への波及効果をどのように考えているのか。

市長 事業区域への企業進出や商業の活性化が期待され、その効果は周辺地域に

も波及すると考えています。今後は市街地整備への期待が高まることが予想されるので、まずは地域住民とまちづくりについて意見交換をしながら、長期的な視点で臨みたい。

問 八街駅自由通路の規律ある市民利活用をどのように進めるのか。

市長 規律ある市民の利活用を促進するため、他人への迷惑行為や通行の妨げとなる行為などの禁止、通行の禁止または制限、供用時間などについてを規定した「八街駅自由通路の管理に関する規則」を平成16年4月1日から施行します。

◆八街中央中学校校舎改築事業について

問 事業の概要はどうか。

教育長 普通教室25教室、特殊学級教室2教室、そのほか特別教室や職員室等で床面積は9千㎡程度、構造は敷地条件等を考慮し検討していますが、基本的には鉄筋コンクリート造り3階建ての校舎を想定しています。また、だれもが使いやすい、ユニバーサルデザインにも配慮した施設づくりを考えています。